

訪問健康診断

アウルコートでは毎年5月に、札幌健診センターのスタッフに来ていただき、入居者様と職員の健康診断を行っています。今年はコロナ禍で順延し、8月7日（金）の実施となりました。普段は入居者様に館内でのマスクを義務付けていませんが、この日は全員がマスクを着用。心電図など各検査コーナーや座席は、空間にゆとりを持たせた配置にしました。



健診結果はご自身の健康管理に役立てていただき、看護師による健康管理サービスに反映させています。入居者様の加齢に伴い、ここ数年は生活の場で受けられる訪問健康診断の重要性が増しました。認知症の進行で外出が困難な方や、ご自身で不調を訴えられない方の健康状態を定期的に確認できるので、その方に適したケアを判断し提供に努めることができます。年月とともに移り変わるケアの視点。アウルコートも入居者様と一緒に齢を重ねています。



いやし課 りりこ&ここな



▲中庭で日光浴を楽しみりりこ(右)とここな

スタッフ リレーエッセー

私の趣味

私は運転することが好きです。休日は好きな音楽をかけながら一人でドライブをしたり、バイク仲間とツーリングに行ったりしています。



介護職員 杉田 汐音

今年は新型コロナウイルスの影響で外出することができず、何か新しいことに挑戦したいと思い、ガーデニングや筋トレを始めました。私の家の周りは自然が豊かで、川のせせらぎや小鳥のさえずりが聞こえ、外での庭のお手入れはよい気分転換になります。最近では出勤前に育てているお花や野菜を観察するのが日課になりました。

私がアウルコートに入社して1年が経ちました。これからも上手な気分転換で笑顔を絶やすことなく、自分がされてうれしいと思えるような温かい対応を意識して頑張りますので、よろしくお願いいたします。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)
アウルコート真駒内
〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

交通機関 ●地下鉄南北線「真駒内」駅下車
●じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)
アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家 その53 2020年10月 だより

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



今年を振り返る

代表取締役 武田 治信

2020年も残すところ2カ月ほどになりました。今年も新型コロナウイルスの感染拡大で日常生活様式が大きく変わり、昨年末の暮らしが今では何年も前のことのように思えます。1年の回顧にはまだ少し早いですが、どんなことがあったのか振り返ってみました。

1月にWHOが集団発生の声明を出した原因不明の肺炎はまたたくまに世界に広がり、2月末には北海道が、経路不明の感染者が増えたことで独自の緊急事態宣言を出しました。続いて国が4月に発出、5月には解除となりましたが、その後も感染者は増え続けています。

コロナ禍で、黒川検事長の賭けマージャン辞任や、河井前法相の公職選挙法違反での逮捕といったニュースの何と存在感のないことか。その陰で、都知事選は小池百合子氏が圧勝し、

GoToトラベルキャンペーンが異論続出の中スタートしました。感染の最大リスクはマスクをはずすことと専門家が警告していますが、小旅行や会食でどれだけ防止策が徹底されるのか、悩ましいのが現実のところではないでしょうか。

最後に東京の中華料理屋さんのちょっと良い話を。来日して22年になる店主の李さんは、休業期間中に毎日500人分の弁当を無償で提供しました。「苦しい時日本人に助けられた恩返しです」と。弁当を通じ困難な状況にある人々の存在に気づき、報道で取り上げられた後は全国から応援の手紙や現金が届いたそうです。

アウルコートの今年の全体目標は「優しさを体現しよう」です。コロナで大変な時だからこそ、互いに支えあい、理解しあって、頑張っていきたいものです。



縁日の賑わいを再現
夏祭り



縁日と盆踊り

毎年恒例の夏祭りを、今年
は8月8日(土)に開催しました。
コロナ禍で外出できない分、例
年以上に楽しい時間となるよう、

練りに練った企画は3部構成と
なりました。

第1部はお祭りムード満点の
行事食。三密にならないようバ
イキング形式にはせず、たこ焼
きや焼きそば、いなり寿司、スイ

カなどを配膳して召し上がって
いただきました。

第2部は、遊技やお菓子が
盛りだくさんの縁日。射的、たこ
釣り、輪投げでは、ほしい景品
を狙って皆さんが集中力を発揮
して大賑わい。綿あめやチョコ
バナナ、氷水といった夜店の味
を思い出させるおやつが、お祭
り情緒をさらに盛り立てました。

第3部は、定番の盆踊りが
締めを飾りました。踊りの輪に
は車いすの方も参加。手踊り
すれば体は自然と動き出し、楽
しいリハビリにもなりました。

祭り囃子に心躍らせたころに戻るひととき
お祭り気分で夏を満喫!



中庭にお出かけ

今夏は、8月25日(火)にも「サ
マーフェスタ」という催しを行
いました。イメージは外出行事のピ
アガーデン。500円のワンコイン
で焼き鳥や枝豆などのおつまみ
とノンアルコールの飲み物を提
供しました。中庭にも設けた座
席では、外の風を感じたり日光
浴したりと、お出かけ気分でリフ



気分は
ビアガーデン
**サマー
フェスタ**



レッシュ。「やっぱり外はいいわ
ねえ」と好評でした。

新型コロナウイルスの感染は
まだ予断を許さない状況です

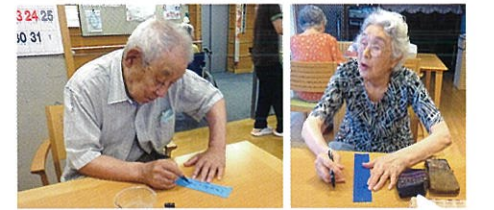
が、今後も入居者様の健康を
守ることを最優先にしながら、毎
日を心豊かに過ごしていただ
けるよう工夫を重ねていきます。



●7/22(水)

ひんやりかき氷で納涼

外出ができない今年は、夏らし
さをかき氷で満喫しました。昼下
がりのおやつの時間に、職員が用意
した昔懐かしい家庭用かき氷器で
氷を削り、味はイチゴとメロンから
選択。ひんやりとした甘みと季節
感を味わいました。



●7/22(水)

七夕の短冊に願い事

食堂に置かれた七夕飾りに、
願い事を書いた短冊を加えました。
かき氷を食べながら入居者様と職
員がそれぞれに書き込んだ願い事
に、多く見られた言葉は「コロナ」
「元気」。短冊に2020年の世相
が映っていました。



●7/15(水)・27(月)

新企画のカーリング

外出行事や外部講師の来館がすべ
て中止となったこの夏、職員は新企画
に知恵を絞りました。テーブルカーリ
ングもそのひとつ。コツの要るボール入り紙
コップの扱いは良い運動に、複雑なルー
ルは頭の体操になりました。

